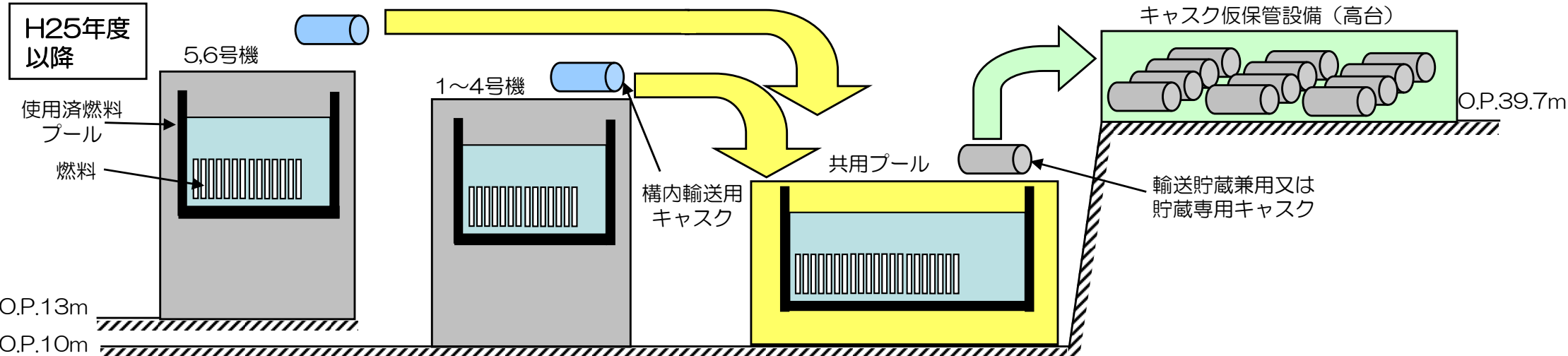
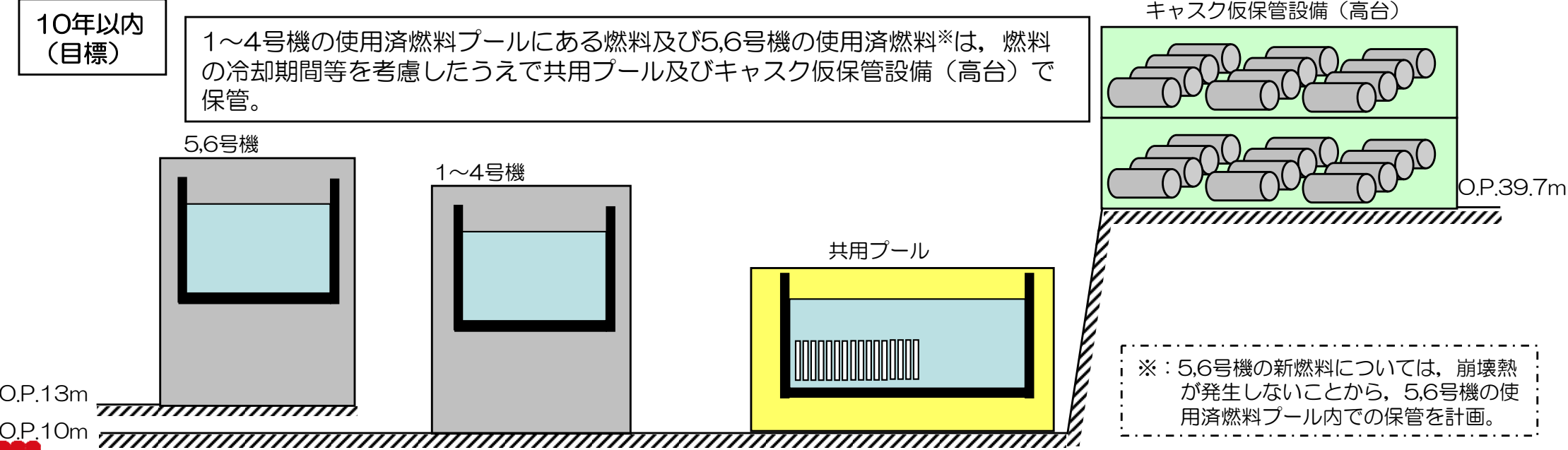


各号機から共用プールへの燃料搬出イメージ



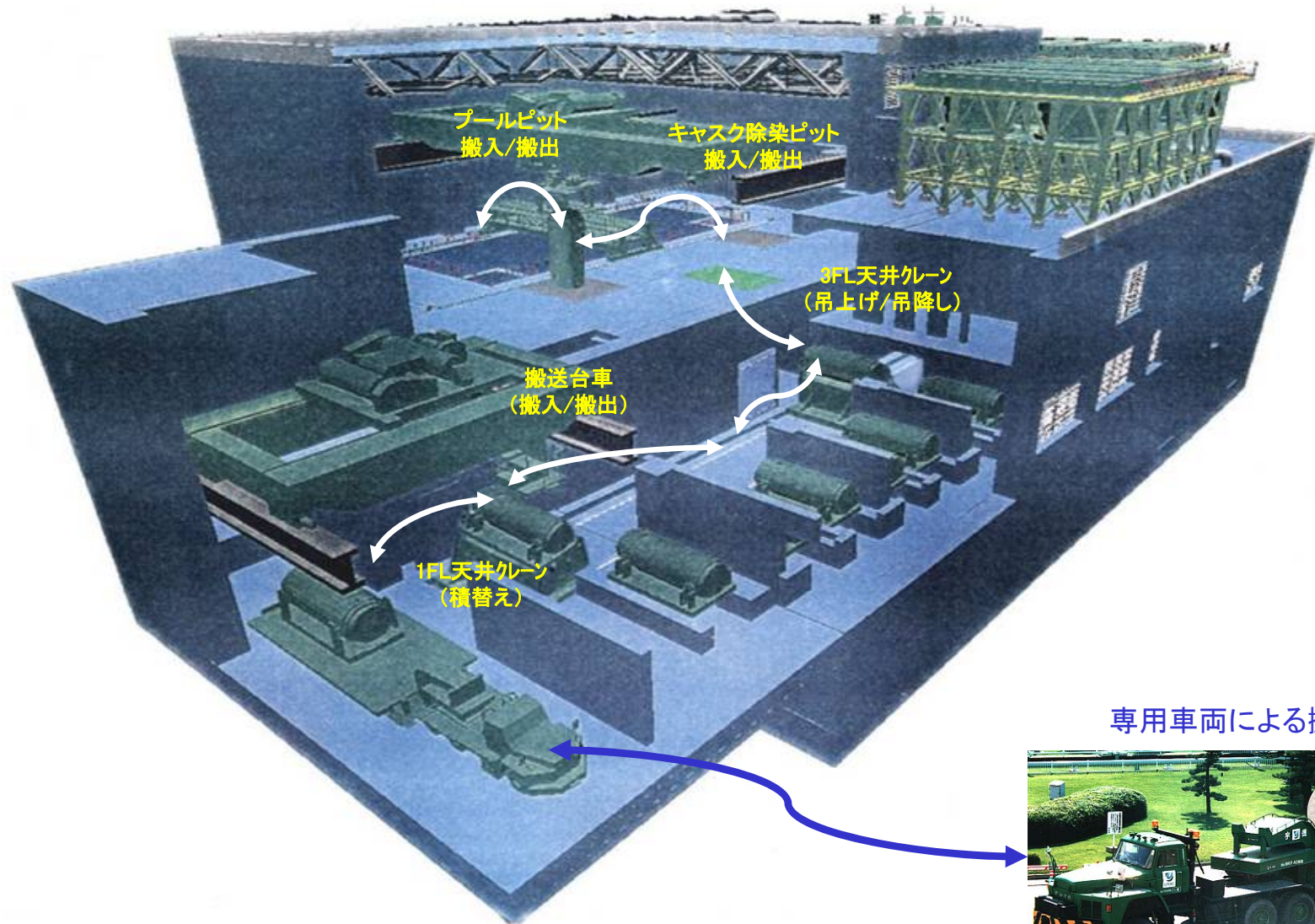
- ・ 共用プール空きスペース確保のため、共用プールに保管している使用済燃料を輸送貯蔵兼用又は貯蔵専用カスクに収納し、高台のカスク仮保管設備にて保管。
- ・ 共用プール空きスペースを確保しつつ、各プラントの燃料を構内輸送用カスクに詰めて、共用プールに搬出。
- ・ 上記を繰り返し、各プラントの燃料を搬出。



※：5,6号機の新燃料については、崩壊熱が発生しないことから、5,6号機の使用済燃料プール内での保管を計画。

キャスク搬入／搬出の流れについて

共用プール建屋



キャスク仮保管設備へ

キャスク仮保管設備の概要

- 保管基数：50基（将来増設15基分のスペース確保）
- 保管カバーはキャスク1基毎をコンクリートモジュールで覆う方式
- 基礎構造：地盤改良を行いその上に基礎盤を敷設
- 既存キャスク保管庫と同様支持架台を設け，固定ボルトにより固定支持する
- キャスク等を取り扱える門型クレーンを設置

